

# 自分と向き合い、これからの生き方を考えよう

氏名：大石 公美

学校名：高知県立高知南中学校

担当教科：英語

実践教科：総合的な学習の時間

時間数：2

対象学年：中学2年

人数：30名

## 【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

単元テーマ

「自分と向き合い、これからの生き方を考えよう」

単元目標

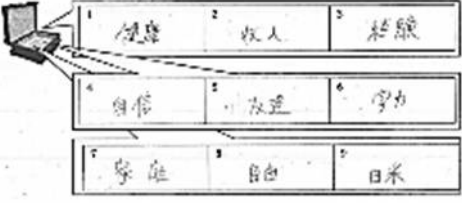
パラグアイの生活やそこで生活する人について知り、授業前と授業後の自分の考えを比較し、変化などから、自分自身の価値観や将来について見つめ直し、今後の生き方で必要なことを見出すことができる。

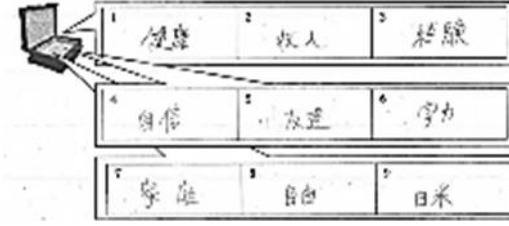
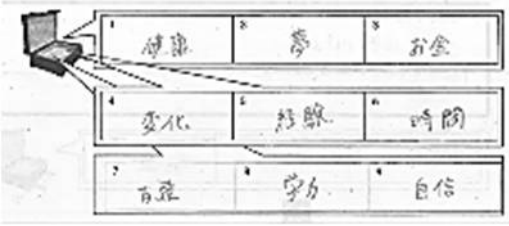
【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	・自分の人生を構成するのに必要なことや大切なことを見つめ直し、今後の生き方について考えようとしている。
	(イ) 思考・判断・表現	・授業前と授業後の自分の考えを比較し、自分の人生を構成するために必要なことや大切なことを見つめ直し、今後の生き方について考えている。
	(ウ) 技能	
	(エ) 知識・理解	・パラグアイの生活やそこで生活する人について理解することができる。
【3】 単元設定の理由  ✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観	<p>第2学年の総合的な学習の時間では、キャリア教育を中心に取り組んでいる。生徒たちは、4月から職業に関する調べ学習を行ったり、10月には職場体験学習を行ったりして働くことの意義などについて体験的に学習し、自分の将来について考えてきている。また、12月には、JICA四国高知の方による講演も聴講し、ヨルダンの少年の生き方を通して、自分の生き方を考えることができた。生徒の実生活とは少し違う環境で生活する同年代の子たちのことを知ることで、将来についての考え方に少し変化が見られた生徒もいた。生徒は多感な時期にあり、いろいろな考え方や刺激を受けることで、それらを柔軟に受け止め自分の生活や考え方に取り入れることができる。</p> <p>本単元では、パラグアイのカテウラ・リサイクル・オーケストラで活動する少女の話を通して、生きていく中で自分が大切にしたい価値観などを見つめ直し、それをもとにどのような職業選択や生き方をするか考え、自己の生き方に生かしていける態度を育成する。</p> <p>生徒のパラグアイへの関心や知識・理解を深めたるため、英語の指導事項に合わせて英語の時間を活用した。教師海外研修へ行く前の7月に、パラグアイの子たちへの手紙を英語で書いた。また、帰国後の授業では、パラグアイの子たちからの返事や、パラグアイの文化や様子などを紹介した。本時では、事前に生徒の考えを記述させ、授業を通</p>	

して自分の考えの中で変化したことや、変化しなかったことを視覚で捉えられるようにし、自分が生きる上で大切にしている価値を認識させ、自分の生き方を考えられるようにする。また、本単元で考えたことを、その後のキャリア教育に生かされるようにする。

【4】展開計画（全2時間）

本時：2時間続き

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	<p>テーマ 「自分と向き合い、これからの生き方を考えよう。」</p> <p>ねらい パラグアイの少女の生き方を知り、自分の生き方を考える。</p>	<p>①自分の人生を構成するのに必要だ・大切だと思うものを書く。 生徒のワークシート</p>  <p>②本時の目標を確認する</p> <p>③パラグアイについて知る。 ・パラグアイの位置や国旗などについてのクイズを行い、生徒の関心意欲を高める。 ・アスンシオンの中心街の写真とカテウラ地域の写真を提示し、2枚の写真からわかることなどを、ペアで話し合い、全体で共有する。</p> <p>④カテウラ・リサイクル・オーケストラについて知る。 ・カテウラ・リサイクル・オーケストラの写真を見せ、気づいたことを全体で共有する。 ・実際の演奏ビデオを視聴し、さらに気づいたことや、写真で気づいたことの確認を行う ・ここで、廃材でできた楽器であることを確認する。</p> <p>⑤カテウラ地区について知る。 ・カテウラ・リサイクル・オーケストラについてのドキュメンタリー動画を視聴し、カテウラ地区の人々の生活の様子などを知る。</p>	<p>【資料1】</p> <p>添付資料参照</p> <p>添付資料参照</p>
2 本時	<p>テーマ 「自分と向き合い、これからの生き方を考えよう。」</p> <p>ねらい パラグアイの少女の生き方を知り、自分の生き方を考える。</p>	<p>①パラグアイの少女の生き方を知る ・絵本を読み、場面ごとに主人公の心情を考える。 ・個人思考→班活動→全体で考えを共有する。</p> <p>②少女の話を通して、自分の人生を構成するのに必要だ・大切だと思うものを書く。 ・事前と事後の自分の考えを比較し、変化したことや変化しなかったことを確認し、自分のこれからの生き方について考える。 ・個人思考→班活動→全体で考えを共有する。</p>	

		<p>生徒のワークシート</p> <p>事前</p>  <p>事後</p> 	
--	--	--	--

**【5】 本時の展開**

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
<p><b>導入</b> (5分)</p>	<p>①本時の目標の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     自分と向き合い、これからの生き方を考えよう。                 </div>		
<p><b>展開</b> (35分)</p>	<p>②前時の振り返りをする。</p> <p>③絵本の読み聞かせを聞く中で、主人公アーダについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(絵本P 1 2)この時の少年たちやアーダの不安とはどのようなものだったか。また、この時のアーダたちが、旅行に持っていくものは何だと思うか。」について考え、話し合う。 個人思考→班→全体でシェアリング</li> <li>・「(絵本P 2 6)アーダたちの手荷物はどうなっていると思いますか。」について考え、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテウラ地区の様子やカテウラ・リサイクル・オーケストラについて振り返る。</li> <li>・カテウラ音楽学校で撮った写真を見せ、絵本の主人公になった少女を紹介し、絵本に興味を持たせる。</li> <li>・絵本を読み書きせる。</li> <li>・絵本は一気に読まず、場面で止め、その都度発問をし、その時の主人公について考えさせる。</li> <li>・生徒たちの話し合い中、観察をしっかりと行い、ねらいに迫る発言などは全体でシェアリングできるようにする。</li> </ul>	<p>パワーポイント:スライド⑭</p> <p>絵本「スラムにひびくバイオリン」</p> <p><b>【資料1】</b></p>

<p>まとめ (10分)</p>	<p>個人思考→班→全体でシェアリング</p> <p>④自分の人生を構成するのに必要だ/大切だと思うものを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前と授業後の自分の考えを比較し、変化したものや変化しなかったものについてその理由や感想を書く。</li> <li>・個人思考→班→全体でシェアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちの話し合い中、観察をしっかりと行い、ねらいに迫る発言などは全体でシェアリングできるようにする。</li> <li>・アーダの生き方をもとに、自分しっかりと返すようにする。</li> </ul>	<p>【資料1】</p>
----------------------	--	--	--------------

【授業実践の様子】

(1時間目) 2枚の写真の比較の全体共有



(2時間目) 話し合いの様子



【6】 本時の振り返り

これまでの学習では、生徒は自分の生活圏内で物事を考えることが多かった。そのため、職場体験先や就きたい職の候補に挙がる職業も限られており、具体的な考えが及ばない生徒もいた。しかし、本時を通して、生徒は将来に対しての考えを高められたと思う。また、生徒たちは思った以上に考え、いろいろなことを感じるようになっていた。期待した考え以上のことも考えており、生徒たちに未知の世界と出会わせる機会はとても大事だと改めて感じた。

英語の授業でもパラグアイを扱ってきたが、本時では、英語の授業では扱えなかったことを扱って生徒たちに考えてもらうことができ、教科横断で授業実践することができ良かった。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化

生徒の感想

- ・アーダさんの住んでいる環境にもし私がいたら、私はずっと下を向いて自信や希望なんて持つことはないと思う。それでも趣味が大きく人生を変えるこということに驚いた。私も趣味を持っておいた方がよいのかもと思った。

- ・アーダさんの話を聞いて、健康や時間がなくては何もできないので、やはり何よりも大切だと思った。でも、夢というのは、生きるための希望になるので、大切だと思った。他にも、経験から好きなことを見つけたり、努力から自信をつけたりすることができると思った。
- ・僕がもしアーダたちの住んでいる過酷な環境で生活するとしたら、絶対無理だと思い、そこから少しだけ持っていくもの（人生で必要/大切にしたいもの）が変わった。
- ・初め、自分の考えに夢を入れていなかったけど、アーダの話を聞いて、自分も目標（夢）とするものを持っておくと、いい経験がたくさんできると思った。気持ちは、人に対する感謝などの気持ちを持って、何事も取り組んでいきたいと思った。大事なものは人との関わり。
- ・あらためて夢が大切と思いました。自分も楽器（ピアノ）を弾いていて、コンサートもできて、私は本当に恵まれていると思いました。変化したのは「夢」以外全部です。お金は必要だけど、お金をもらうために夢があるわけではないので、私の中で順位が低い。（必要最低限でいい）
- ・最初は、高い収入を必要としていたけど、安定した収入でも良いと思えた。時間を1番に必要としていたけど、安定が1番になったし、経験もすごく必要だと思った。今、サッカーをできているのも、親の支えがあつてのことだと思うので、親に感謝をしたいと思った。これからは自分で進路を決めるので、そういうことをしっかりとできる人になりたい。
- ・授業後の人生に必要/大切なものでは、人のことを思いやるようなものが増えた。アーダさんの話を聞いて、共感することがたくさんあったので、成長に必要な心が増えてきました。自分だけでなく、人のことも理解したいという気持ちが強くなりました。
- ・授業前では具体的なものが多かったけど、授業後では精神的なものが多くなった。自分にとって心から大切なものが増えた。自分の心を支えるもの、自分が進むための道しるべが必要だと思った。自分を助けてくれる周りの人も、周りの人を助けたいと思える自分の成長も大切だと思った。

**【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】**

- ・英語の授業では、パラグアイの市街の街並みや食などの文化に焦点を当てて授業を行っていたため、また違った視点でパラグアイを見て、パラグアイのイメージや自分の考えが変わったという生徒がいた。また、個人的にインターネットなどで調べる生徒もいた。
- ・異文化については、英語の授業や他教科でも触れることがあり、関心・意欲が高い生徒たちだが、さらに関心・意欲が上がったように思う。

**【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】**

（授業前）

・途上国などに興味を示すことがなかったり、知る機会もなく、そのことに考えが及ばなかったりした生徒が多かった。

（授業後）

・他の国のことも知りたいという関心・意欲が高まり、青年海外協力隊の活動に興味を示し始めた。

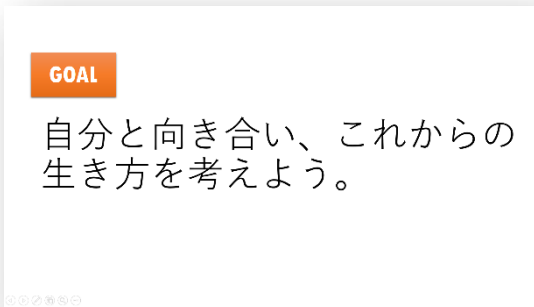
## 【8】自己評価

1. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の主人公アーダの立場になって考えられるよう、カテウラ地区の様子や、カテウラ・リサイクル・オーケストラでの活動で彼女が変わっていく様子をとりえさせること。</li> <li>・自分たちとは違う環境や文化で生活する人たちのことを知り、改めて自分の生活や生き方など、自分自身を振り返らせること。</li> </ul>
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元では、自分自身の生き方について、大事にしたいことを考えさせたが、そこだけにとどまらず、アーダたちのような環境で生活する人たちのことを知って、同じ地球で生活する以上、自分たちができないことはないかと考えられるようにすること。</li> </ul>
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に設定した期待する生徒の考えに迫ることができた。また、期待した以上の考えを持つ生徒もいた。進路について考えが定まっていなかった生徒の中にも、アーダの生き方という具体的な例を見て、自分の趣味や行っていることが将来に生かされるのではないかと考え始めた生徒もいたこと。</li> <li>・絵本の話の中で、ファビオ・チャベス氏の活動に興味を示し、自分も彼のように厳しい環境で生活する人たちに何かできることはないかと考える生徒もでてきたこと。</li> </ul>
4. 備考（授業者による自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教員にも同じ教材で授業実践を行ってもらわなければならなかったため、教材作りにはとても悩んだ。カテウラ地区の説明などでは、ビデオなどの視覚教材を活用し、実際にパラグアイへ行ったことがない教員でも指導しやすい工夫を行った。また、経験を話すことは、他教員はできないので、写真から分かることを生徒たちに考えさせるようにし、そこで考えたことについて補足説明や情報を与えるようにした。しかし、この方法の方がより伝えたいことが生徒に伝わり、生徒の思考につながった。</li> <li>・教師海外研修ではいろいろな経験ができ、出会いもある。そのために生徒たちに伝えたいことはたくさんあるが、それを一気に授業に詰め込むのではなく、伝えたいことを少数に絞り、それをそれぞれの教科に分けて授業を行い、そこで伝えることのほうが、生徒たちも何度もパラグアイについて向き合うことができるし、それぞれの課題について考えや理解を深めることができる。私自身は、担当教科である英語の授業で、パラグアイの文化や人々の生活、街並みを教材に授業を行った。また、社会科の教員と情報を共有し、社会科でも地理で南米を扱う際の教材に活用してもらった。</li> <li>・情報や画像などはインターネットでも得られるが、現地を訪れて得た情報は、やはり言葉も重みも違うので、生徒たちの反応も違う。また、生徒たちの疑問にも具体的に答えることができ、それにより生徒たちの理解や、考えを深めることができると感じた。</li> </ul>

添付資料：

第1限目・2限目 パワーポイント

①



②



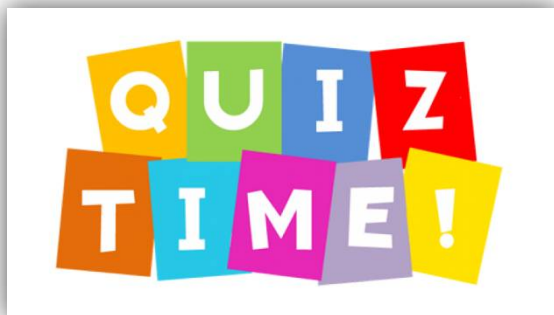
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭





【資料1】 ワークシート

2年 H 番 名前

- 1 あなたは、今から人生の旅に出かけます。あなたの**人生を構成**するのに必要だ/大切だと思うものを3つ持っていくとすれば、何を持っていきますか。9つを下の表に書き、理由も書きなさい。 注1：具体物でなくてもかまいません。信念などでもOKです。  
注2：下の例から選んでもかまいません。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

理由

- 例
- 時間 (労働時間とは別に、自分の趣味などに使える自由な時間)
  - 学力 (高い学力) / 収入 (高い収入) / 家庭 (温かい家庭)
  - 安定 (環境や生活が変化せず、落ち着いた生活ができる。収入も高くはないが、決まった額もらえる)
  - 健康 (身体や心の健康を維持する)
  - 成功 (自分の資格や試験に合格したり、出世したり社会的名声を得る)
  - 変化 (道の世界に挑戦したり、新しい刺激を求めれる)
  - 経験 (自分が成長できる体験や経験ができる)
  - 運命 (決められた人生)
  - 自由 (誰にも囚わされず、自分勝手にできる、何にも属さない)
  - 奉仕・貢献 (誰かのために働く・人の役にたつ)
  - アイデンティティー (自分が何者であるかはっきりとし、自分自身を生かす)
  - SNS / 趣味 / 自信 など

2 アーダたちの不安

1	2	3
---	---	---

↓

1	2	3
---	---	---

3

1	2	3
4	5	6
7	8	9

例

時間 (労働時間とは別に、自分の趣味などに使える自由な時間)

学力 (高い学力) / 収入 (高い収入) / 家庭 (温かい家庭)

安定 (環境や生活が変化せず、落ち着いた生活ができる。収入も高くはないが、決まった額もらえる)

健康 (身体や心の健康を維持する)

成功 (自分の資格や試験に合格したり、出世したり社会的名声を得る)

変化 (道の世界に挑戦したり、新しい刺激を求められる)

経験 (自分が成長できる体験や経験ができる)

運命 (決められた人生)

自由 (誰にも関与されず、自分勝手にできる、何にも属さない)

奉仕・貢献 (誰かのために働く・人の役にたつ)

アイデンティティー (自分が何者であるかはっきりとし、自分自身を生かす)

SNS / 趣味 / 自信 など

変化・感想

参考資料：

Landfill Harmonic - the "Recycled Orchestra" <https://www.youtube.com/watch?v=yYbORpgSmjg>

絵本「スラムにひびくバイオリン」汐文社 スーザン・フッド/作 サリー・ワーン・コンポート/絵 中家多恵子/訳